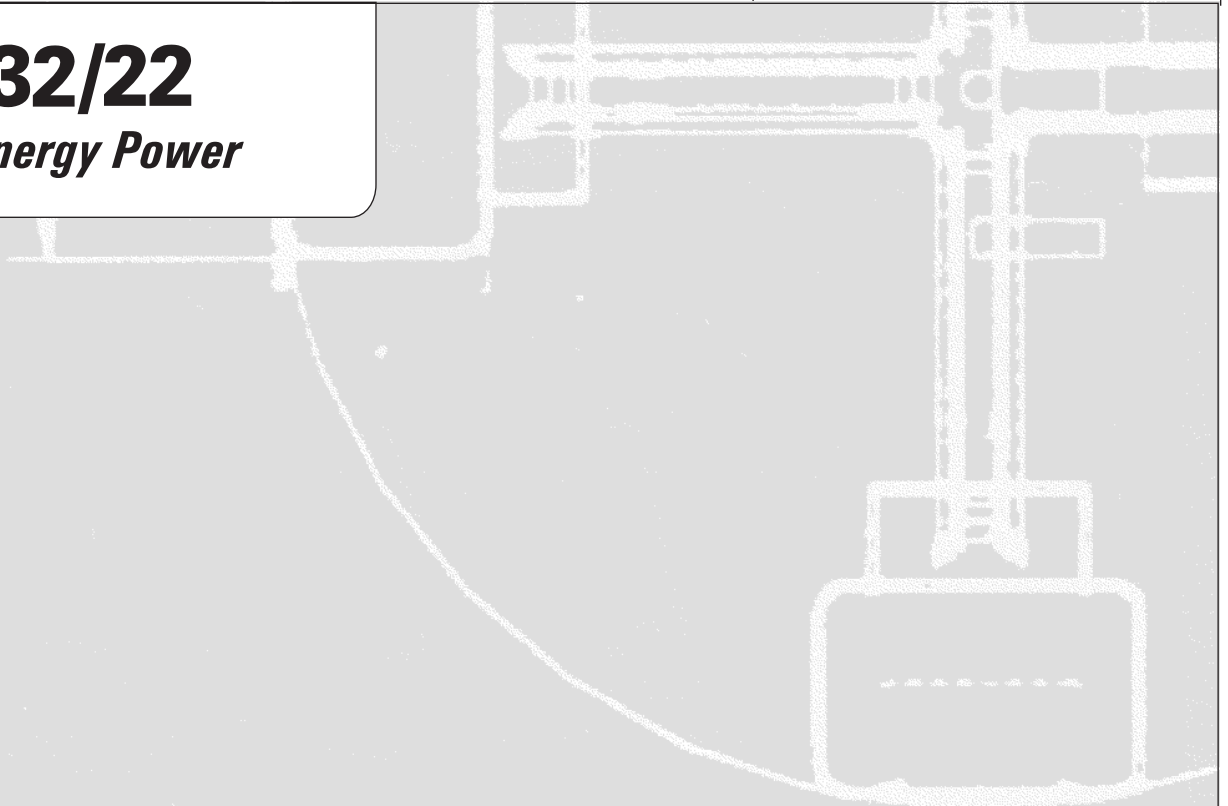


Genie®

操作説明書 メンテナンス情報付属

Fourth Edition
First Printing
Part No. 114443JA

Z™-32/22
Bi-Energy Power



重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許可されています。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

	ページ
安全規則	1
操作	9
説明	11
操作前の点検	12
メンテナンス	14
機能テスト	17
作業場の点検	21
操作手順	22
ステッカー	28
輸送およびリフトの手順	32
仕様	35

お問合せ先：

インターネット：<http://www.genielift.com>
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 1998 Genie Industries

第 4 版：第 1 刷 2007 年 3 月

「Genie」および「Z」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

♻️ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

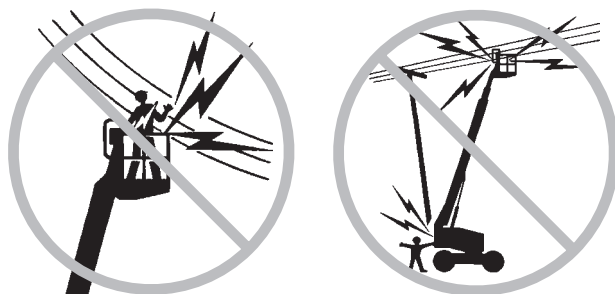
操作を行う必須条件：

- 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。
 - 2 必ず操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に必ず機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。
- 製品取扱説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。
- 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。
- 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。
- 使用者が機械を安全に操作するための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全上の 最短距離 メートル
0~300V	接触を避ける
300V~50KV	3.05
50KV~200KV	4.60
200KV~350KV	6.10
350KV~500KV	7.62
500KV~750KV	10.67
750KV~1000KV	13.72

作業台の動きおよび電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

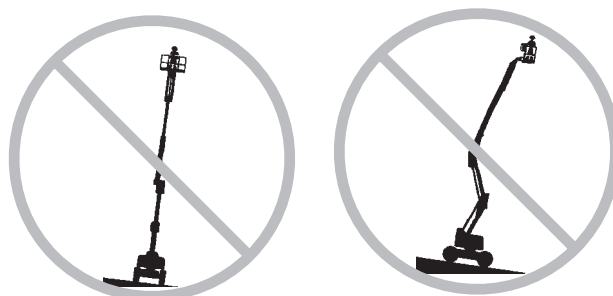
溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2

定格作業台最大積載荷重量にはパイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は少なくなります。これらのオプションに関しては、ステッカーを参照してください。



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上げたり伸ばしたりしないでください。

傾斜アラームを傾斜の指標として使用しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合：
ブームを水平より高く伸長、旋回、あるいは上昇させないでください。作業台を上昇する前に、機械をしっかりとした水平な地面に移動してください。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。下降中は、ブームを旋回しないでください。作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

安全規則

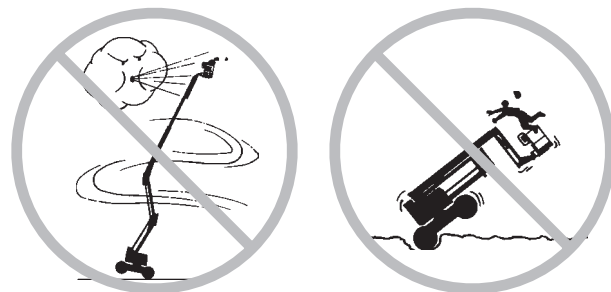
リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

主ブームを上げているまたは伸長している状態、あるいは補助ブームが上がっている状態では、時速1 kmを超える速度で走行しないで下さい。

挟まったり、引っ掛かったり、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

風速が秒速12.5 mを超える場合はブームを上げないでください。秒速12.5 m以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



作業台を収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通過して機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇または伸長した状態で機械を走行しないでください。

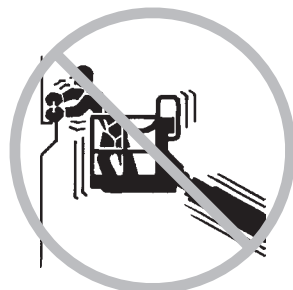
機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納されている状態のものであります。

最大勾配の定格値, 収納状態

カウンターウェイト 上り勾配	30%	17°
カウンターウェイト 下り勾配	20%	11°
横勾配	25%	14°

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。

作業台の外にある物を押ししたり、引っ張ったりしないでください。



最大側方圧 - ANSI & CSA
667 N

最大側方圧 - CE
400 N

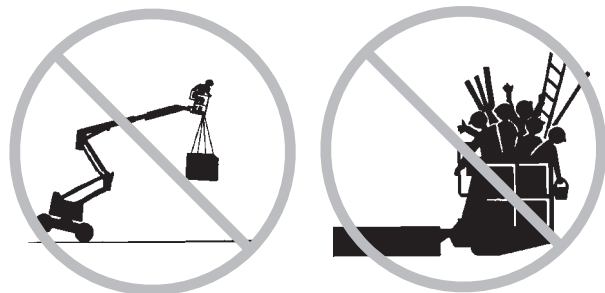
機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積荷の表面積を増大させます。

安全規則

機械から荷物をぶら下げたり、機械に取り付けたりしないでください。



作業台にはしごや足場を設置しないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

移動中または移動する可能性のある地面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが適切に締められていることを確認してください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の構造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の構造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 40 kg で、バッテリーを含んだ各バッテリーボックスの重量は、少なくとも 205 kg でなければなりません。

爆発と火災の危険

LPガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、広く換気された場所で行ってください。

危険な場所、可燃性の高い場所、あるいは爆発性のガスもしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル性のスプレーをかけないでください。

安全規則

落下の危険



作業員は安全ベルトやハーネスを着用し、適用される法規に従わなければなりません。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

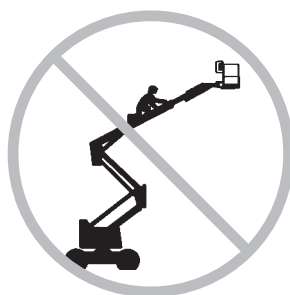
作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



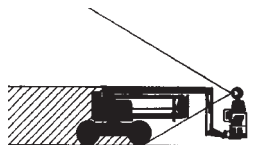
作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。



衝突の危険



走行または操作中は、視界が遮られる場所および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置に注意してください。

作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用に関して、従業員規則、作業現場の規則、および法規に従わなければなりません。

走行やステアリング機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色矢印を見て、進む方向を確認してください。



安全規則

ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、他の作業員の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動するには、12 ボルトを超えるバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときには機械をアースとして使用しないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

エンジンが作動しているときは、一酸化炭素中毒を避けるため、よく換気された場所で機械を操作してください。

カバーされている部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、これらのコンパートメントについては作業前の点検だけを行ってください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および喚起語を使用しています。



安全警報シンボル - 作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとの指示に従ってください。



赤 - 差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。



オレンジ - 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。



警告シンボルを伴った黄色 - 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。



警告シンボルなしの黄色 - 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。



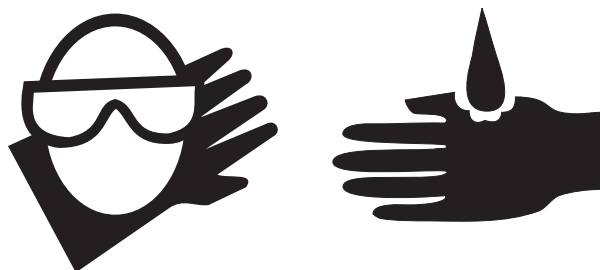
緑 - 操作情報、またはメンテナンス情報を示します。

安全規則

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。



バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。

バッテリー端末またはケーブル留め金に金属製の工具を触れると火花を発生することがあります。工具を使用する時は、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24 ボルトより高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電の危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの貴金属をすべて外してください。

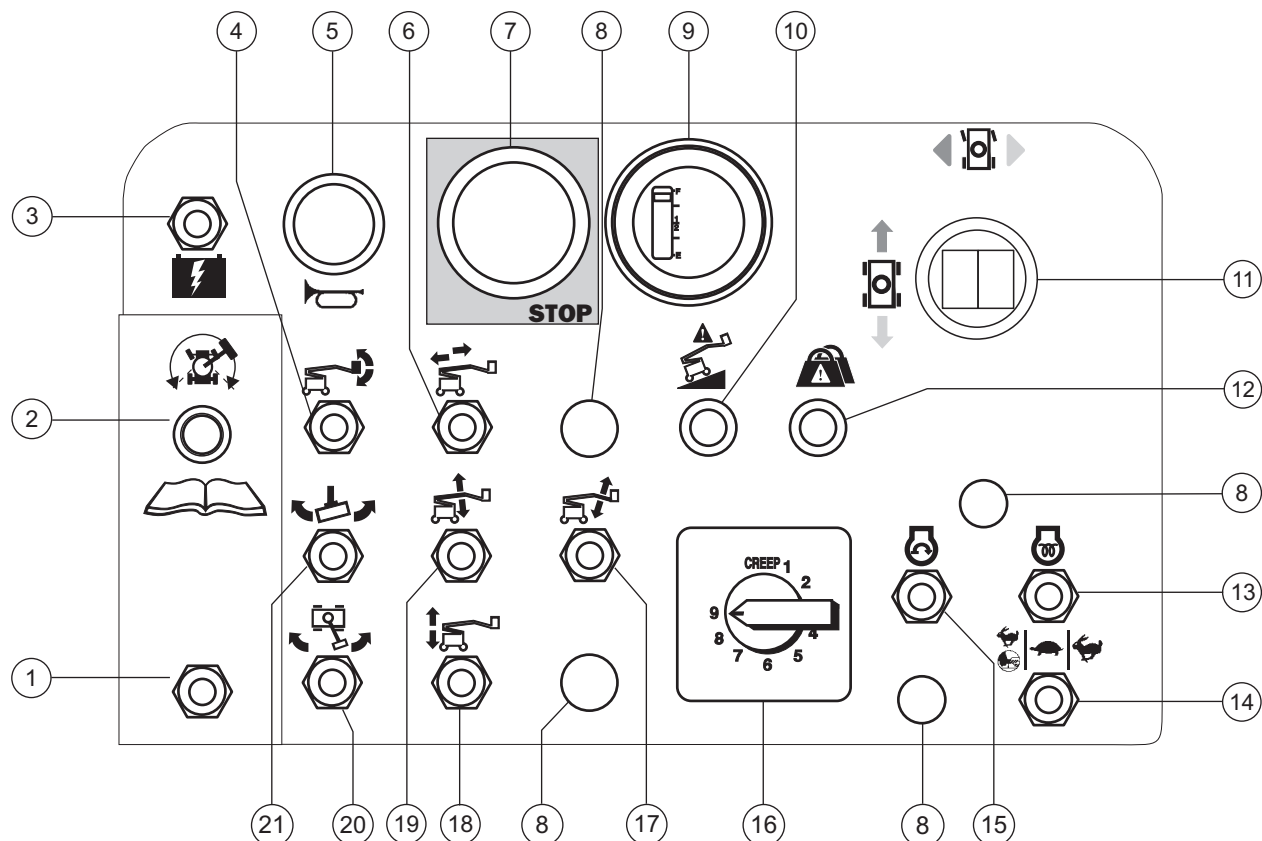
転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーは使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。バッテリーの重量はそれぞれ 40 kg で、バッテリーを含んだ各バッテリーボックスの重量は、少なくとも 205 kg でなければなりません。

持ち上げ時の危険

バッテリーパックの取り外しや取り付けを行う場合は、フォークリフトを使用してください。

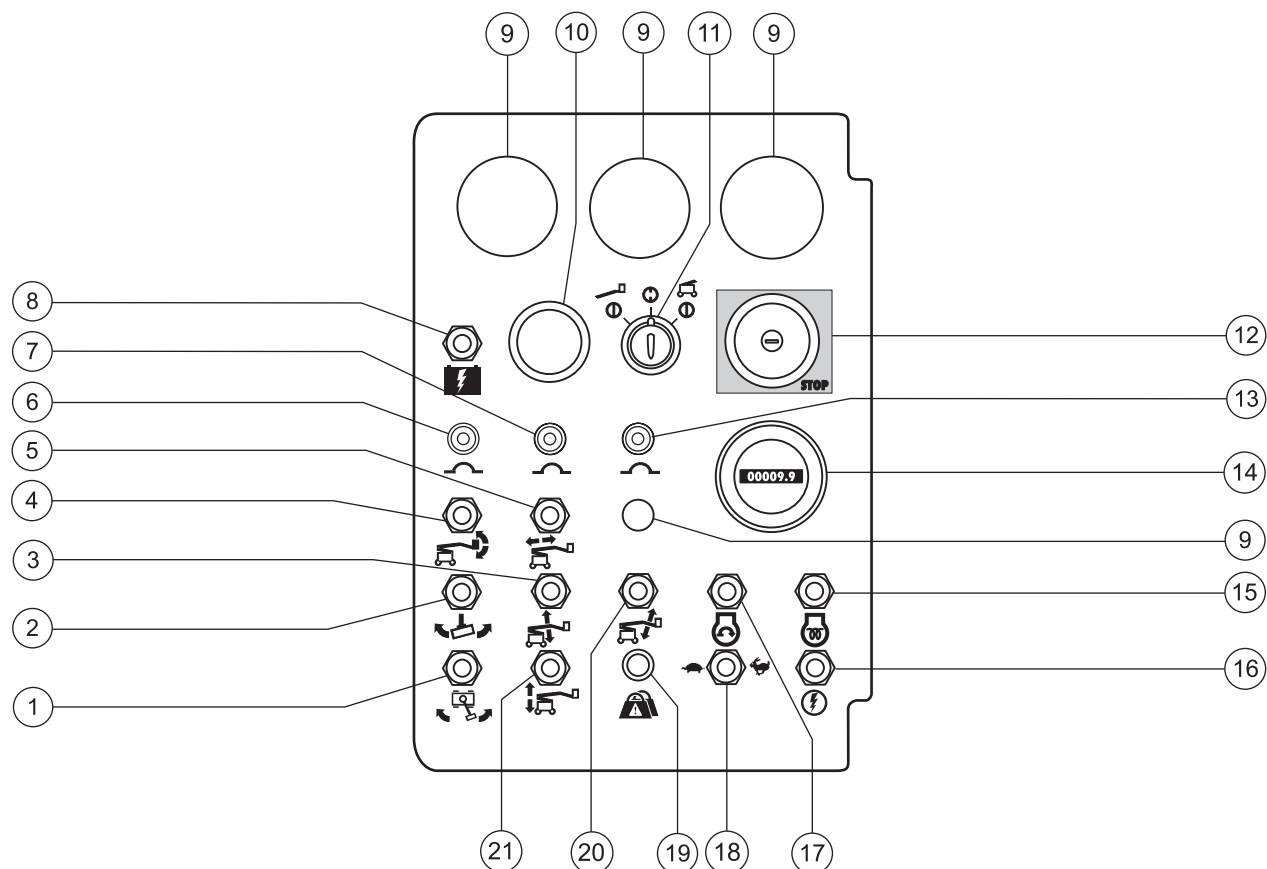
操作



作業台操作パネル

- | | | |
|---|---|--|
| <p>1 走行機能スイッチ</p> <p>2 走行機能表示ランプ</p> <p>3 補助動力スイッチ</p> <p>4 作業台レベルスイッチ</p> <p>5 ホーン ボタン</p> <p>6 主ブーム延長/収縮スイッチ</p> <p>7 赤色非常停止ボタン</p> <p>8 非使用</p> <p>9 バッテリー充電表示器
(オプション)</p> <p>10 傾斜表示ランプ
(搭載する場合)</p> | <p>11 走行機能用比例コントロール
ハンドルと操舵機能用
ロッカー</p> <p>12 作業台過負荷表示ランプ
(搭載する場合)</p> <p>13 グロープラグスイッチ
(オプション)</p> <p>14 エンジンアイドリング (rpm)
選択スイッチ:
ウサギとペダルスイッチ:
ペダルスイッチにより
高アイドリングを作動
カメ: 低アイドリング
ウサギ: 高アイドリングと
高速バッテリー充電</p> | <p>15 エンジン始動スイッチ</p> <p>16 ブーム機能速度コント
ローラー</p> <p>17 ジブブーム上昇/下降
スイッチ</p> <p>18 補助ブーム上昇/下降
スイッチ</p> <p>19 主ブーム上昇/下降スイッチ</p> <p>20 ターンテーブル旋回スイッチ</p> <p>21 作業台回転スイッチ</p> |
|---|---|--|

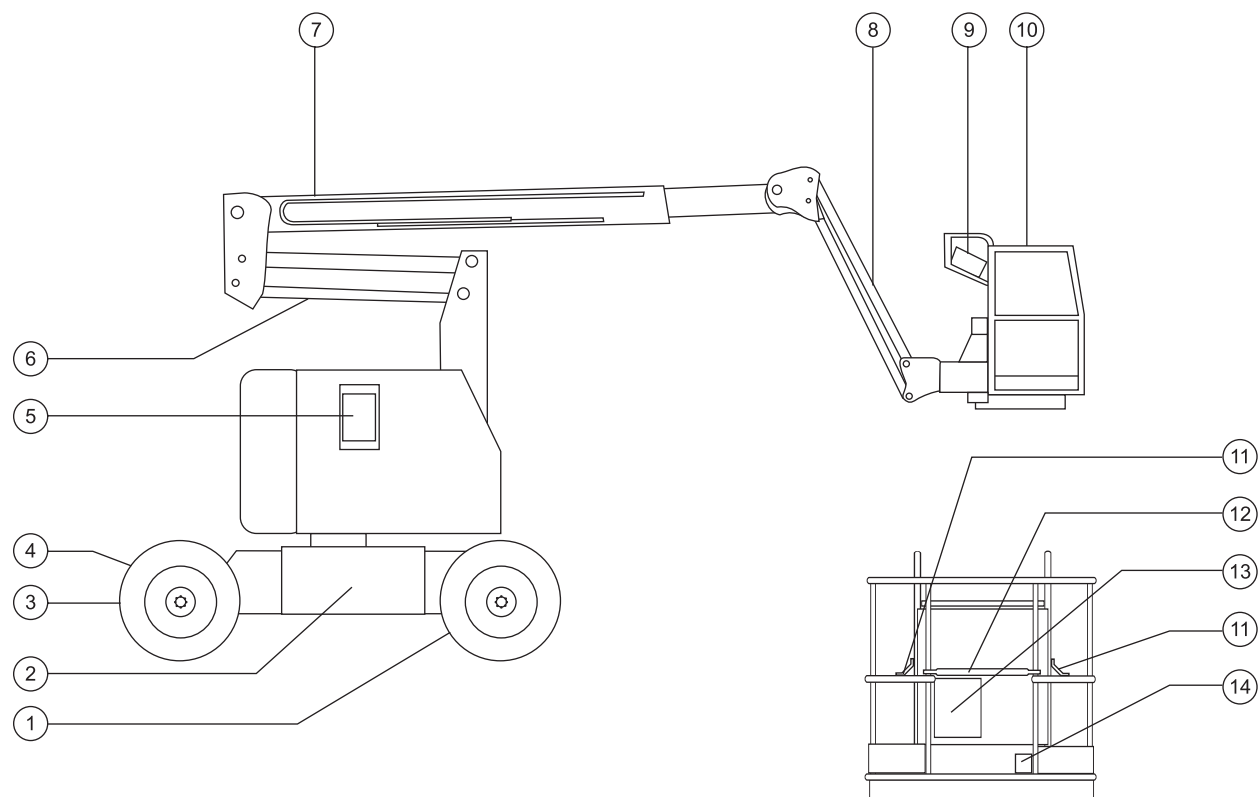
操作



地上操作パネル

- | | |
|------------------------|--|
| 1 ターンテーブル旋回スイッチ | 13 制御リターン電気回路用 10A ブレーカー |
| 2 作業台回転スイッチ | 14 時間計 |
| 3 主ブーム上昇/下降スイッチ | 15 グロープラグスイッチ (オプション) |
| 4 作業台レベルスイッチ | 16 機能作動スイッチ |
| 5 主ブーム延長/収縮スイッチ | 17 エンジン始動スイッチ |
| 6 エンジン電気回路用 10A ブレーカー | 18 エンジンアイドリング (rpm) 選択スイッチ:
カメ: 低アイドリング
ウサギ: 高アイドリングと高速バッテリー
充電 |
| 7 制御電気回路用 10A ブレーカー | 19 作業台過負荷表示ランプ (搭載する場合) |
| 8 補助動カスイッチ | 20 ジブブーム上昇/下降スイッチ |
| 9 非使用 | 21 補助ブーム上昇/下降スイッチ |
| 10 移動アラーム | |
| 11 作業台/OFF/地上選択キー スイッチ | |
| 12 赤色非常停止ボタン | |

説明



1 非ステアリングタイヤ

2 バッテリーボックス

3 ステアリングタイヤ

4 充電器への電力 (操舵側のタイヤ間)

5 地上操作

6 補助ブーム

7 主ブーム

8 ジブブーム

9 作業台操作

10 作業台のみ

11 安全帯固定場所

12 スライド式中間レール

13 マニュアル保管コンテナ

14 ペダルスイッチ

操作前の点検



操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 **必ず操作前の点検を行う。**
次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。
 - 3 使用する前に必ず機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見ても行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書に記載してあるメンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可の改造を発見したら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行います。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。
- すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- エンジン冷却液の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- 作動油の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- バッテリー液の漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- タイヤの空気圧が適切であることをチェックします。必要に応じて空気を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、不正に変更されていないか、きちんと設置されていないか、なくなっている部品がないかチェックします。

- 電気部品、配線、電気ケーブル
- 油圧ユニット、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- 発電機、ベルトおよび関連部品
- 燃料と油圧タンク
- 走行とターンテーブルのモータ、およびトルクハブ

- ブーム磨耗板
 - タイヤとホイール
 - エンジンと関連部品
 - リミットスイッチ、アラームとホーン
 - ナット、ボルト、他の締め具
 - 作業台出入口中間レールまたはゲート
 - ビーコンとアラーム (搭載する場合)
- 機械全体をとおして下記をチェックします：
- 溶接や機械部品の割れ
 - 機械のへこみや損傷
- 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
 - 点検が終了したら、コンパートメントのすべてのカバーがしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意

以下のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されているシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

- 1 ブームが収納位置にあることを確認します。
- 2 油圧タンクのオイル量を目視点検します。
- ◎ 結果：作動油の量は、油圧タンクの FULL (満タン) と ADD (追加) のマークの間を指している必要があります。
- 3 必要に応じてオイルを追加します。

作動油の仕様

作動油タイプ

Chevron Rykon
Premium MV 同等品

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意

オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

- 1 オイル計量棒をチェックします。
- ◎ 結果：オイル量は、計量棒の FULL (満タン) マークを指している必要があります。
- 2 必要に応じてオイルを追加します。

クボタエンジン Z482-E

オイル粘度 10W-40

エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE、CD/SE、CC/SF、CD/SF グレードのもでなければなりません。本装置は 10W-40 SG/CC で出荷されています。

エンジン冷却液の量の点検



エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化がある場合には、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

- 1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。
- ◎ 結果：液の量は、FULL (満タン) マークを指している必要があります。

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、故障および危険な状態を招くおそれがあります。

警告

人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意

バッテリーは、エンジンだけでは完全に充電することができません。AC バッテリー充電器で、定期的にバッテリーを完全に充電してください。

注意

このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

- 1 保護服と保護メガネを着用してください。
- 2 バッテリー ケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。
- 3 バッテリー固定ブラケットがしっかりと締められていることを確認します。
- 4 バッテリー通気孔のキャップをとります。
- 5 バッテリーの酸の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないように注意してください。
- 6 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

メンテナンス

タイヤ空気圧の点検

**注意**

この手順は、オプションのフォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

警告

人体への傷害の危険：タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

警告

転倒の危険：パンク修理剤を使用してタイヤを一時的に補修しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

- 1 各タイヤを空気圧計でチェックして、必要に応じて空気を足してください。

タイヤ空気圧

工業用タイヤ	6.89 バール
不整地用タイヤ	3.1 バール

定期保守点検

四半期ごと、1年ごと、2年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンス トレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービス マニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

- 4 作業場を点検する。
- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、すべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行う必要があります。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

- 1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

地上操作

- 2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- ◎ 結果：ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。
- 4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

- 5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。
- ◎ 結果：エンジンが止まり、機能がなにも作動しません。
- 6 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

機械機能のテスト

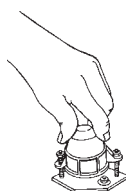
- 7 機能作動スイッチを、いずれかの側に切り替えたままにしないようにします。ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。
- ◎ 結果：ブームと作業台の機能がなにも作動しません。
- 8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。
- ◎ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります (搭載している場合)。



機能テスト

傾斜センサーのテスト

- 9 キー スイッチを回して作業台操作に切り替えます。作業台の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
 - 10 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、傾斜センサーを見つけてください。
 - 11 傾斜センサーの片側を下に押して、5 秒間そのままにします。
- ◎ 結果：作業台のアラームが鳴ります。



補助制御のテスト

- 12 キー スイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 13 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 14 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

- ◎ 結果：ブーム機能がすべて作動します。

作業台操作

- 15 キー スイッチを回して作業台操作に切り替えます。
 - 16 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- ◎ 結果：ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。
- 17 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

- 18 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

- ◎ 結果：エンジンが止まり、機能がなにも作動しません。

- 19 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

警報のテスト

- 20 ホーン ボタンを押します。

- ◎ 結果：ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

- 21 ペダルスイッチを踏み、始動トグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

- ◎ 結果：エンジンは始動しません。

- 22 ペダルスイッチを踏まないでください。機械の各機能をテストしてください。

- ◎ 結果：機械の機能はなにも作動しません。

機械機能のテスト

- 23 ペダルスイッチを踏みます。

- 24 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

- ◎ 結果：ブームもしくは作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

注記：ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度を制御できます。走行およびステアリング機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

機能テスト

ステアリングのテスト

- 25 ペダルスイッチを踏みます。
- 26 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げます。
- ◎ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。
- 27 ロッカー スwitchを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げます。
- ◎ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

- 28 ペダルスイッチを踏みます。
- 29 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。
- ◎ 結果：機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、急停止します。
- 30 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。
- ◎ 結果：機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

走行制限速度のテスト

- 31 ペダルスイッチを踏みます。
- 32 主ブームを 30 cm 上げます。
- 33 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：主ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。
- 34 ブームを下ろし収納します。
- 35 補助ブームを 30 cm 上げます。
- 36 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。
- 37 ブームを下ろし収納します。
- 38 主ブームを 30 cm 伸長します。
- 39 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。
- ◎ 結果：主ブームを伸長した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。
- 主ブームが上昇あるいは伸長した状態、あるいは補助ブームが上昇した状態で走行速度が 30 cm/秒を超える場合は、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

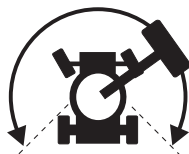
機能テスト

走行機能システムのテスト

40 ペダルスイッチを踏み、主ブームを収納位置まで収縮します。

41 ブームが非ステアリングタイヤのひとつを超え、ターンテーブルを旋回します。

- ◎ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



42 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

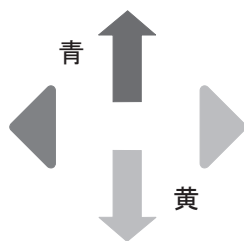
- ◎ 結果：走行機能は作動しません。

43 走行機能トグルスイッチを上か下に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

- ◎ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色矢印で進む方向を確認してください。



補助制御のテスト

44 ペダルスイッチを踏みます。

45 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

- ◎ 結果：すべてのブームおよび操舵機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/走行 選択機能のテスト
(搭載する場合)

46 ペダルスイッチを踏みます。

47 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

- ◎ 結果：ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

- 1 危険な状態での使用を避ける。
- 2 必ず操作前の点検を行う。
- 3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

- 5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- ・ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ・ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ・ 傾斜面
- ・ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ・ 頭上の障害物、高圧送電線
- ・ 危険な場所
- ・ 機械の重量に耐えられない地面
- ・ 風や天候の状態
- ・ 関係作業員以外の人々の存在
- ・ その他、起こる可能性のある危険な状態

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

操作手順



操作を行う必須条件：

- ☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。
 - 1 危険な状態での使用を避ける。
 - 2 必ず操作前の点検を行う。
 - 3 使用する前に常に機能テストを行う。
 - 4 作業場を点検する。
 - 5 **決められた用途にのみ機械を使用する。**

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。オペレータは、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に、責務として従わなければなりません。

作業員を工具や機材とともに高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け、認定された担当者のみ機械を操作することが許可されています。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則、使用説明書、および安全と責任に関するマニュアルの手順にすべて従わなければなりません。すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作を始める前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

はじめに

本装置はエンジンが作動してるかどうかにかかわらず操作することができます。

エンジンの始動

- 1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。
- 3 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。



15 秒間のクランクを回転してもエンジンが始動しない場合、故障の原因を判別し、修理してください。もう一度始動を試みる前に、60 秒間待ってください。

寒い状況では、グロープラグスイッチをどちらか一方に動かしてそのままにしてから、エンジンを始動します。

-6°C 以下の極寒の状況では、グロープラグスイッチをどちらか一方に動かしてそのまま 10 秒間待ってからエンジンを始動します。油圧システムの損傷を防ぐため 5 分間エンジンを温めてください (低アイドルリングを使用してください)。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

地上からの操作

- 1 キー スイッチを回して地上操作に切り替えます。
- 2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を位置につける

- 1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。
- 2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。



走行とステアリングの機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

- 1 キー スイッチを回して作業台操作に切り替えます。
- 2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

作業台を位置につける

- 1 ペダルスイッチを踏みます。
- 2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

ステアリング

- 1 ペダルスイッチを踏みます。
- 2 ステアリングホイールを、走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークで、タイヤの向く方向を確認してください。

走行

- 1 ペダルスイッチを踏みます。
- 2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。
速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止する：走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、カウンターウェイト上り勾配 (登坂能力) : 30% (17°)



最大定格勾配、カウンターウェイト下り勾配 : 20% (11°)



最大定格横勾配 : 25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。登坂能力という用語は、カウンターウェイト上り勾配の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が非ステアリングタイヤの間にあることを確認します。

傾斜勾配の確認

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なもの：

水準器

最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片

巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の端に合わせてその上にレベル (水準器) を置いた後、木片が水平になるまで木片を持ち上げます。

操作手順

木片を水平に保ちながら、木片の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離(高さ)を木片の長さ(水平距離)で割り、その数値に100を掛けます。

例：



木片 = 3.6 m

水平距離 = 3.6 m

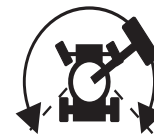
高さ = 0.3 m

$0.3 \text{ m} \div 3.6 \text{ m} = 0.083 \times 100 = 8.3\%$ 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、ウィンチを使用するか、機械を輸送する必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

走行機能

表示ランプがオンになると、ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられていることを示します。



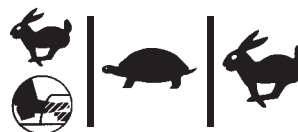
走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

エンジンアイドリング選択 (rpm)

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング (rpm) を選択してください。機械機能速度はエンジンアイドリング速度に影響しません。



- ウサギとペダルスイッチのシンボル：ペダルスイッチにより高アイドリングを作動
- カメ：低アイドリングと低速バッテリー充電
- ウサギ：高アイドリングと高速バッテリー充電

エンジンは、高アイドリングの状態では充電と機械機能の作動に十分な電力を供給します。低アイドリングの状態では、機械機能の作動にバッテリーの電力を使用します。

操作手順

補助制御

主電源が停止した場合に、補助動力を使用してください。

- 1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。
- 2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
- 3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。
- 4 補助動力スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。



走行機能は、補助動力では作動しません。

落下防止

本機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) を着用する必要があります。

すべてのPFPEは、適用される法規に準拠したものでなければならず、取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

バッテリーの充電

バッテリーを充電するにはエンジンあるいは AC バッテリー充電器を使用してください。

エンジンによるバッテリーの充電

エンジンを作動することによって、バッテリーは自動的に充電されます。エンジンは、高アイドリングの状態では十分な電力を供給します。低アイドリングの状態では、機械機能の作動にバッテリーの電力を使用します。

全てのリフトおよび走行機能は、エンジンが作動している状態で操作が可能です。

バッテリー充電表示器は、エンジンを 2~3 分間止めるとリセットされます。

バッテリーは、エンジンだけでは完全に充電することができません。AC バッテリー充電器で、定期的にバッテリーを完全に充電してください。

AC バッテリー充電器によるバッテリーの充電

エンジンが作動していないことを確認してください。

機械に付属している AC バッテリー充電器を使用して一晩充電します。充電器は自動的に停止します。

AC バッテリー充電器で、定期的にバッテリーを完全に充電してください。

非水平表示ランプ (搭載されている場合)



機械が水平でない場合にランプが点灯します。このランプが点灯している間、傾斜アラームが鳴ります。機械を安定した水平な地面に移動してください。

作業台過負荷表示ランプ (搭載されている場合)



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。この場合、機能はなにも作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。

使用後の注意

- 1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。
- 2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。
- 3 ブームが非ステアリングタイヤの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。
- 4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。
- 5 輪止めをかまします。
- 6 必要に応じてバッテリーを充電してください。

ステッカー

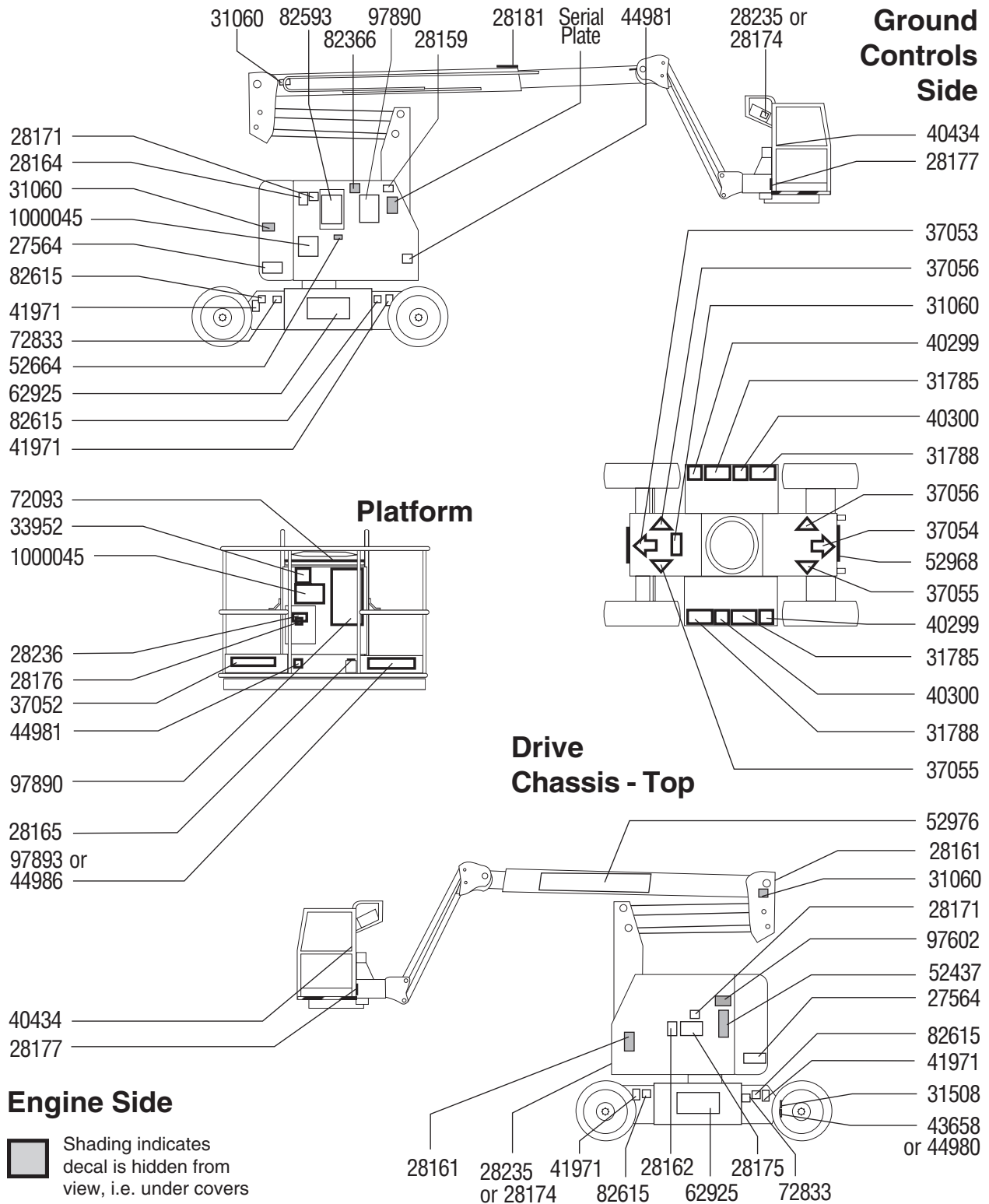
喚起語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの喚起語を確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Decal Description	Quantity
27564	Danger - Electrocutation Hazard	2
28159	Label - Diesel	1
28161	Warning - Crushing Hazard	3
28162	Warning - Bodily Injury Hazard	1
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot Switch	1
28171	Label - No Smoking	2
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Platform Rotate	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
31060	Danger - Tip-over Hazard, Interlock	4
31508	Notice - Power to Charger	1
31785	Notice - Battery Charger Instructions	2
31788	Danger - Battery/Charger Safety	2
33952	Danger - Tilt-Alarm	1
37052	Notice - Maximum Load, 500 lbs / 227 kg	1
37053	Arrow - Blue	1
37054	Arrow - Yellow	1
37055	Triangle - Blue	2
37056	Triangle - Yellow	2

Part No.	Decal Description	Quantity
40299	Notice - Battery Connection Diagram	2
40300	Danger - Tip-over Hazard	2
40434	Label - Lanyard Anchorage	2
41971	Notice - Tire Pressure	4
43658	Label - Power to Charger, 230V	1
44980	Label - Power to Charger, 115V	1
44981	Label - Air Line to Platform	2
44986	Notice - Max Manual Force, 90 lbs / 400 N	1
52437	Notice - Kubota Diesel Engine Specifications	1
52664	Label - Controller Status Indicator Light	1
52968	Cosmetic - Genie Boom	1
52976	Cosmetic - Genie Z-32/22	1
62925	Cosmetic - Genie Z-32/22 Bi-Energy	2
72093	Platform Control Panel	1
72833	Label - Open	2
82366	Label - Chevron Rykon	1
82593	Ground Control Panel	1
82615	Label - Wheel Load	4
97602	Warning - Explosion Hazard	1
97890	Danger - Safety Rules	2
97893	Notice - Max Side Force, 150 lbs / 667 N	1
1000045	Notice - Operating Instructions	2

ステッカー



ステッカー

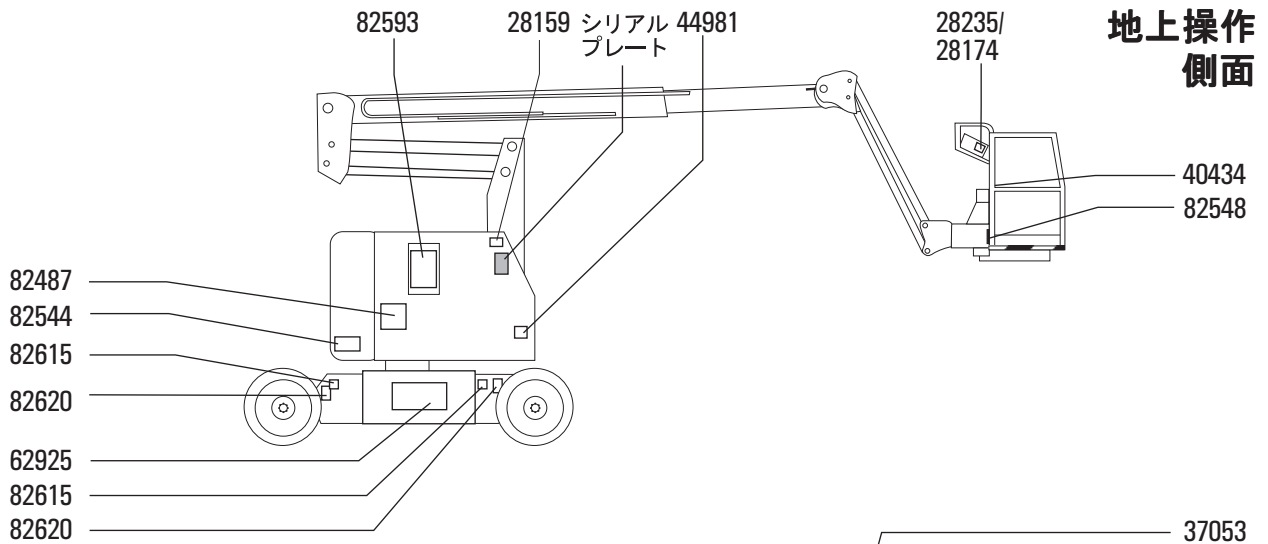
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているシンボルのついたステッカーを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

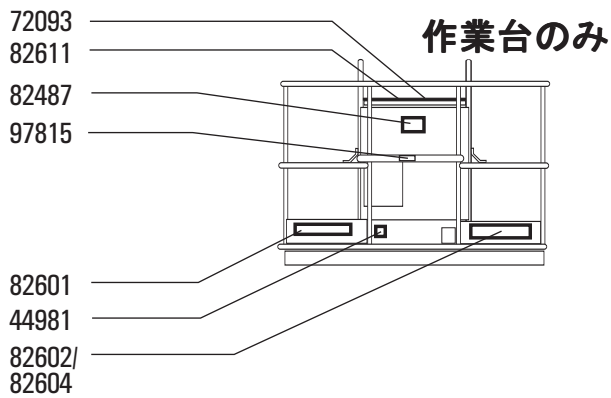
品番	ステッカーの説明	数量
28159	ラベル - ディーゼル	1
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
37053	矢印 - 青	1
37054	矢印 - 黄	1
37055	三角 - 青	2
37056	三角 - 黄	2
40434	ラベル - 安全带固定箇所	2
43658	ラベル - 充電器への電力、230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力、115V	1
44981	ラベル - 作業台への空気管	2
52968	外装 - Genie Boom	1
62925	外装 - Genie Z-32/22 Bi-Energy	2
52976	外装 - Genie Z-32/22	1
72093	作業台操作パネル	1
82472	警告 - 手のケガの危険	3

品番	ステッカーの説明	数量
82473	要注意 - コンパートメントへのアクセス	1
82481	危険 - バッテリー/充電器の安全	2
82487	ラベル - 操作手順	2
82544	危険 - 感電の危険	2
82548	警告 - 作業台回転	2
82593	地上操作パネル	1
82601	危険 - 最大積載量、227 kg	1
82602	危険 - 最大外圧、667 N	1
82604	危険 - 最大外圧、400 N	1
82611	ラベル - 走行機能パッチ	1
82615	ラベル - 輪荷重	4
82620	ラベル - タイヤ空気圧	4
97815	ラベル - 中間レール	1

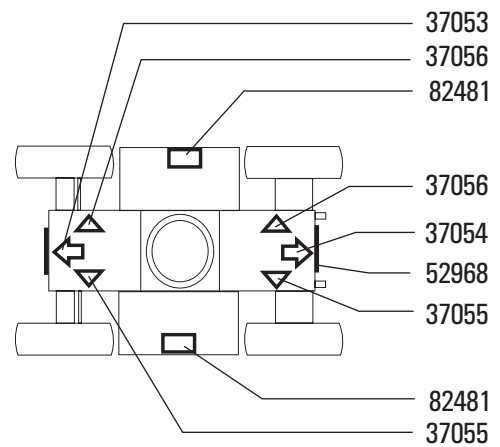
ステッカー



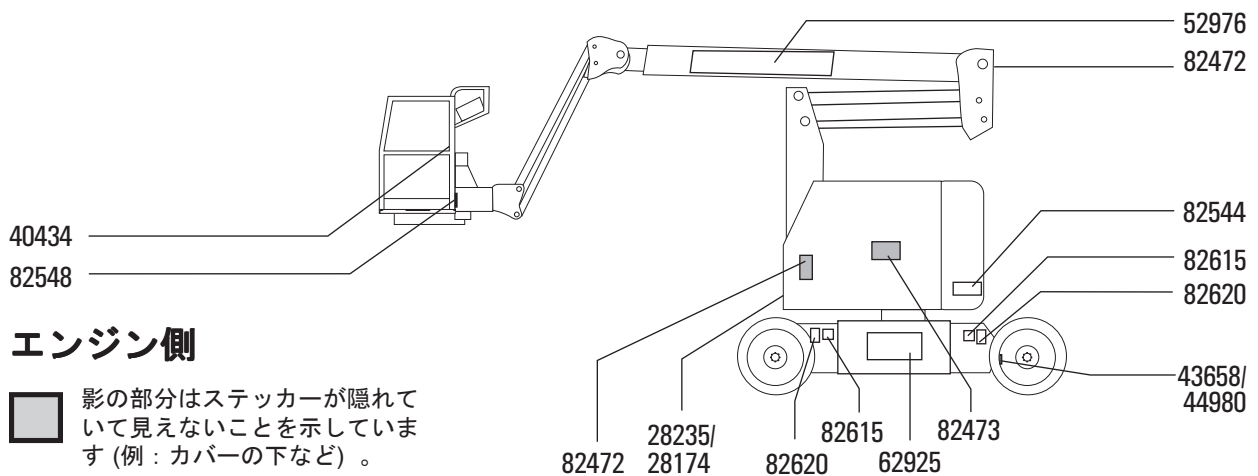
地上操作側面



作業台のみ



走行シャーシ 上面



エンジン側

影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例: カバーの下など)。



輸送およびリフトの手順



必ず従うこと：

- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。
- ☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前にターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。
- ☑ 機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

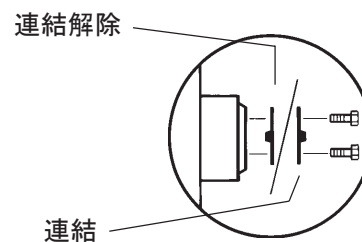
ウィンチ用のフリーホイールの設定

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 トルクハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤのブレーキを解除します。(下記を参照してください。)
- 3 シャーシの荷締め個所にウィンチ ラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

機械を載せた後：

- 1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。
- 2 トルクハブ取外しキャップを裏返して、非ステアリングタイヤにブレーキをかけます。(下記を参照してください。)

Genie Z-34/22 Bi-Energy の牽引は推奨されていません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。



輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいは トレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

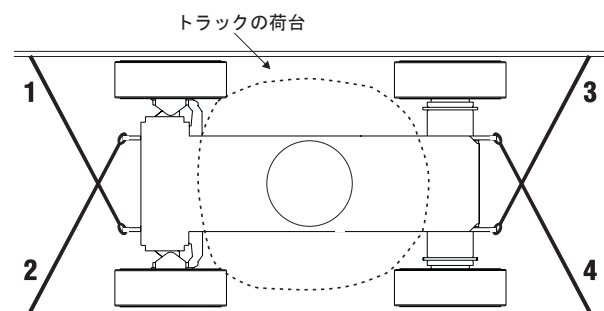
シャーシの固定

シャーシの荷締め位置を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低 4 組のチェーンを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、リギングを調節してください。

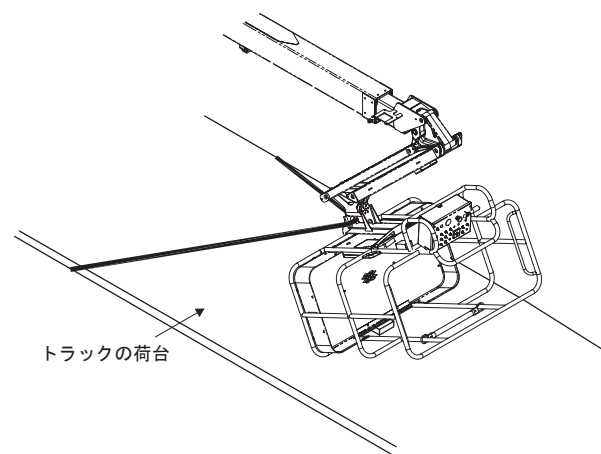


作業台の固定

ジブと作業台が収納された状態であることを確認してください。

作業台出入口下の作業台端の下にブロックを置きます。

作業台回転位置付近の作業台マウントにナイロンストラップを掛けて、作業台を固定してください(下図を参照)。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送およびリフトの手順



必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

リフトの手順

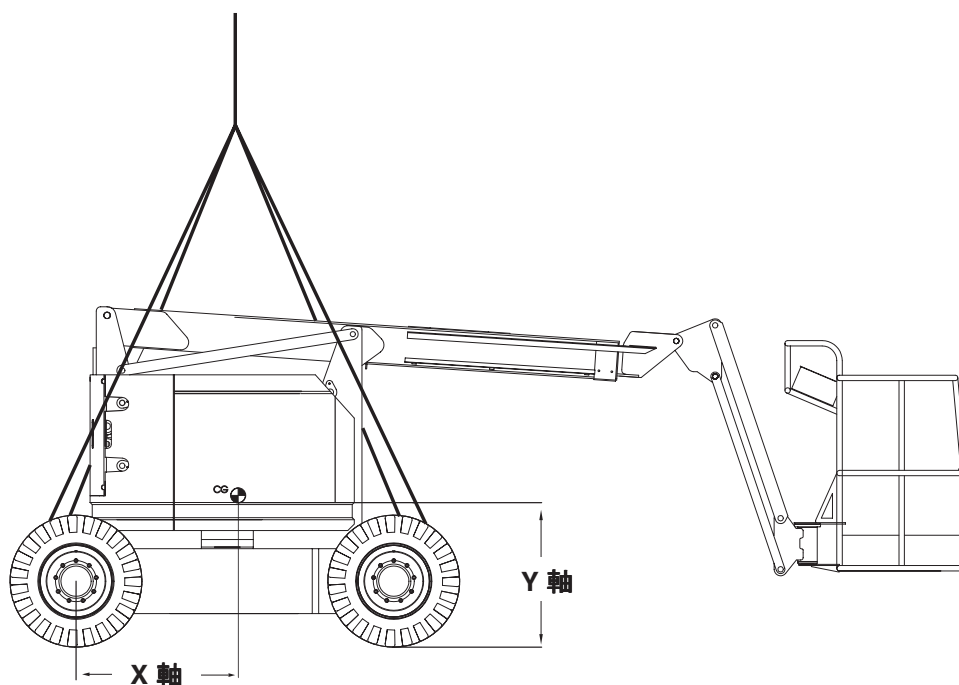
ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみリギングを取り付けます。シャーシには、吊り上げ点が4箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、リギングを調節してください。

X 軸	91.3 cm
Y 軸	84.7 cm



仕様

高さ、操作時最高	11.5 m
高さ、作業台最高	9.7 m
高さ、収納時最高	2 m
水平リーチ最大長さ	6.8 m
幅	1.7 m
奥行き、作業台収納時	5.6 m
最大積載荷重	227 kg
最大風速	秒速 12.5 m
ホイールベース	1.9 m
旋回半径 (外側)	4 m
旋回半径 (内側)	1.8 m
地上クリアランス	15 cm
ターンテーブル回転角度 (度)	355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0
電源	8 グループ-4H、 6V 315AH バッテリー クボタ Z482 エンジン
走行速度 (最高)	時速 6.4 km 12.2 m/6.8 秒
ブーム 上昇または伸長時	1.0 km/時 12.2 m/40 秒
登坂能力 (ブーム収納時)	30%
制御	24V DC 比例
作業台寸法、 (長さ × 幅)	1.4 m x 76 cm
作業台水平維持	自動水平維持
作業台回転角度	160°
作業台 AC コンセント	標準

油圧, 最大 (ブーム機能)	220.7 バール
システム電圧	48V
タイヤサイズ 標準 オプション	9-14.5 10-16.5NHS
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量 (A特性騒音レベル)	80 dB
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
最大勾配の定格値, 収納状態	
カウンターウェイト 上り勾配	30% 17°
カウンターウェイト 下り勾配	20% 11°
横勾配	25% 14°
注記：定格勾配は、地面の状態とトラクションにより異なります。	
床荷重表	
最大輪荷重	2222 kg
タイヤ接地圧 (タイヤごと)	7.03 kg/cm ² 689 kPa
車体占有面の平均圧力	1185 kg/m ² 11.63 kPa
注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。	

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様は予告なく変更することがあります。

動作範囲

